

THEリアルタイム

発行者 サポートセンター連 広報担当 横浜市旭区柏町59-2 Tel 045-360-9778 Fax 045-360-7004

社会福祉法人 訪問の家 ホームページ <http://www.houmon-no-ie.or.jp/>

≪「THE リアルタイム」は利用登録者の皆さん、並びに地域の方々を対象にお届けします。≫



お陰さまで「こんがり工房」は2周年を迎えることができました。

これからも心を込めておいしいパンづくりに励みます。

今後ともよろしくお願いいたします。(こんがり工房一同)

こんがり工房 開業2周年 感謝祭(6月)

【目次】

- (P1) 表紙 / リアルショット「こんがり工房2周年」 / 目次
- (P2) 十人十色～みんな違うから面白い
- (P3) 特集(地域の夏祭りプチレポート) / 素敵な笑顔をありがとう、俊行さん
- (P4) 地域交流のWA / わたしのリアレポ / 各インフォメーション / 編集後記

十人十色～みんな違うから面白い～

村上拓土さん(以下 拓土さん)1971年10月22日生まれ。イチロー選手と同じ誕生日の38歳。趣味はエレクトーン。拓土という名前は、明るく健康であってほしいという願いを込め、字画の良い「拓土」という名前をご両親がつけてくれたそうです。

今回はお母さんから、拓土さんの子どもの頃の話から現在、そして将来について、大変だった話などをとても明るく話して頂きました。



15歳の拓土さん
スキルマットを作成

小さい頃の拓土さんは、多動(場面や状況に応じて集中することが難しく、絶えず動き回る事)で高い所が大好き。目を離すとすぐに高い所へ行ってしまう「タンスの上で暮らしているような子」だったそうです。家の屋根やベランダの手すりの上などソツとするような所を歩いていた事もありました。

拓土さんが自閉症と診断されたのは4歳の時。当時は「自閉症」という言葉すら一般的ではない時代。そんな時に「自閉症」の診断を受け、どのように対応したらいいのか？分からないことばかり…先の見えない不安と苦勞がとても大きかったそうです。幼い時であれば苦手な「統合する力」を補う事ができると言われ、いろいろな事にチャレンジしました。自転車・ローラースケート・縄跳び・鉄棒・スキルマット・竹馬…その中で、近所の友達に誘われて始めたのがオルガンでした。多動だった拓土さんですが、オルガンが定着してきたあたりから徐々に落ち着きはじめました。落ち着いた理由は、オルガンが「座ってできる」事だったからではないかとの事。オルガンも覚えるまでは大変な苦勞があったようですが、長年続ける事でオルガンからエレクトーンへ…今でも拓土さんの趣味のひとつになっています。



エレクトーン発表会

お母さんに「拓土さんにとって連とはどんな場所ですか？」と聞くと、「生きがいかな…」と。拓土さんはエレクトーンのように、「できるようになった事」、「自分のものになった事」は、大好きで本当にいきいきと喜んでされるそうです(そのかわり、できるようになるまでが大変とのこと…)。学校を卒業してから16年間通所していた施設を辞め、3年前の開所時から連の通所が始まりました。場所も人も異なる環境の中、生まれて初めてのパン作業。当初は多くの混乱がありました。毎日、毎日、繰り返し行っていくうちに少しずつ慣れ、自分でできるようになってくると、徐々に楽しんで作業する姿が見られてきました。楽しんでできる事が次第に、やらなくてはいけない事、自分のできる事になり、「できる事」が「生きがい」になっているのではないかと話してくれました。

現在、連のこんがり工房ではさつまいもパンの担当として、迷いなく作業されている姿や楽しそうに作業する姿が見られています。こんがり工房に来た際には、拓土さんの作ったさつまいもパンを、是非ご賞味ください！



パン作り

以前は動きまわっている事が多かった拓土さんですが、最近では連から帰ってくるとテレビの前でゆっくり過ごす時間もでき、「今が本人の人生の中で一番落ち着いていて、本人も楽なのではないかな」と。今後も、今のよう落ち着いて穏やかに過ごし、将来的にはグループホームで暮らすことを母として望んでいるそうです。

今回、お母さんにお話を聞かせて頂き、拓土さんにとって「自信を持ってできる事」がいきいきと生活していけることなのだと感じました。今後もいきとした表情を増やしていけるように連でサポートしていきたいと思えます。また、お母さんからまだまだ書ききれないたくさんのお話を聞かせて頂き、実際の生きたお話は支援者として大変勉強になったとともに、お母さんの拓土さんを思う凄さ…たくましさ強く感じました。(山田)

自閉症とは…先天性の脳障害からくる認知障害です。原因はまだ解明されていませんが、脳の中枢神経の機能障害でそのために困難なことや理解できないことがあるのではないかとされています。「社会性」「コミュニケーション」「想像力」が苦手な障害と言われていて、しつけや育て方が原因ではありません。

特集 地域の夏祭りプチレポート♪



7月17日(土)この日も猛暑の一日でしたが、連の地域である南万騎が原自治会の夏祭りが駅近くの公園で開催され、連としては今回初めて利用者さんとスタッフとで楽しむことができました。今回の特集は、お祭りに行った小林令さんと、わたくし能勢が「初体験プチレポート」をさせていただきたいと思います。

普段は物静かな公園が、この日は盆踊りのやぐらを中心に物凄い人の数で賑わっていました。綿菓子や焼きそばなどの屋台と、輪投げやヨーヨーなどのゲームもありましたが、どの模擬店も長蛇の列でいろんな列が入り組んでいるような状況でした。



さて、そんな状況下でも我らが令さんは忍耐強く列に並び、景品がもらえる輪投げにいざチャレンジ！ 車椅子の令さんは、普段、連の中で手を使った活動をしていることもあり、輪投げは腕の見せ所でした。ところが、初めての場所ということもあり必要以上に全身が緊張してしまい、なかなか輪っかが手から離れません(どうしよう(-_-;)。ところが、自治会の輪投げ担当の方は、そんな令さんをじっと待ってくださり、遠くへは投げられない令さんのために、景品を車椅子近くに寄せてくれるなどの配慮をしてくれました。

そのような温かい応援もあり、なんと景品を3つGETしました！(令さん感激！)



今回は初体験ということもあり早めに解散しましたが、その後も和太鼓など魅力的な催しが行なわれていたようでした。来年はぜひ、地域の方と一緒に最後までお祭りを楽しみたいと思います。地域のみなさん、私達を温かくwelcome して下さり本当にありがとうございました。(新人の能勢でした)

素敵な笑顔をありがとう...俊行さん！

7月27日火曜日の早朝、連の日中活動支援事業を利用している大槻俊行さんの訃報が入りました。

前日の月曜日、母校だった特別支援学校で行われていた青年学級に参加し、大好きな先生たちや仲間と楽しいひと時を過ごした後、自宅の駐車場で痰を詰まらせてしまい、お母さんや搬送先の病院での懸命な処置の甲斐なく、数時間後帰らぬ人となってしまいました。

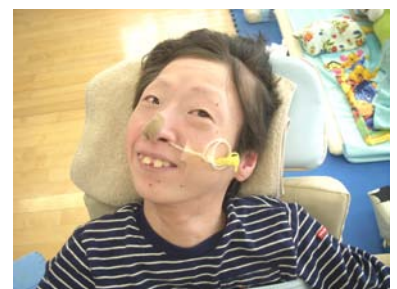
連としては一年半足らずのお付き合いでしたが、自主製品である「ニコニコクッキー」のシンボルともいえるべく素敵な笑顔と、精一杯に腕を上げてアピールする姿は何とも勇ましく、いつまでも私たちの記憶に残ることでしょう。ご冥福をお祈りします。

「ちょっとお休みが続くから、一週間あいちゃうけど、また来週！！」と、いつものようにお母さんとの帰宅を見送り、まさかそれが連での最後の挨拶になるなどということを感じさせない俊行さんの笑顔がありました。亡くなったことを聞いてから、私の頭の中は俊行さん一色となりました。実感がわかず、なぜ？という気持ちも大きかったです。でも、頭の中に浮かぶ俊行さんは見事に笑顔一色でした。

もっと一緒にクッキーを作りたいかった…紙すき作業もしたかった…俊行さんの笑顔をもっともっとたくさんの人に知って欲しかった…もう笑顔を見られないと思うと、とてつもなくさみしいです。

連に通って一年四ヵ月。決して長くはなかったかもしれないけれど、俊行さんと出会えたこと、一緒に過ごせたこと、すごく幸せに思います。これからも、変わらずにここにクッキーをみんなと一緒に作り続けていきたいです。…でも、やっぱりクッキーを作っていると、腕を上げてここにしている俊行さんが来てくれることを期待してしまいます。俊行さん、たくさんの笑顔をありがとう。

担当スタッフの一人 永井より



地域交流のWA



おはなしつくんこ

私達「おはなしつくんこ」は、絵本や紙芝居の読み聞かせ、エブロンシアター、パネルシアター、人形劇などをしながら、子ども達とふれあっているグループです。発足して23年経ちました。依頼があれば、小学校や幼稚園、母子グループなどに出張公演を行っています。連では、毎週のように練習の場として使わせていただき、何度も公演もさせていただくなどしています。子ども達の笑顔を励みに、これからも頑張っていきたいと思えます。興味のある方、是非ご参加ください。

連を利用している子ども達にはおなじみのおはなしつくんこさんです。余暇プログラムやイベント等で、いつも子ども達を楽しませて下さっています。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。(小菅)

～地域交流室 利用のご案内～
お申込みは、2ヶ月前の同日から先着順で受け付けています。詳しくはお電話または窓口にてお問い合わせください。



9月11日(土)
ふれあいまつりでも公演の予定です。お楽しみに♪

わたしのリアルレポート

私は親子でサッカーが大好きです。ピッチ内を縦横無尽に走り回るサッカーは、健常者のスポーツと思われがちですが、視覚障がい者の「ブラインドサッカー」というスポーツがあります。

アイマスクを着けて全盲状態で行うB1クラスと弱視者のB2/3クラスがあります。ボールから出るシャカシャカという音、コーチ・ゴールキーパー・コーラー(指示を出す)の晴眼者の声を聞いて、自分で判断してプレーします。見えないままで走るの怖くないの? と思いましたが、「制限が無いので、自由を感じる」と話す選手が多いそうです。

日本では歴史の浅いスポーツですが、各地でチーム発足・日本代表の活躍など徐々に知名度が上がってきています。皆さんも機会があれば、ブラインドサッカーを応援してください。プレー中は選手が音を聞く為に静かにしなければいけませんが、ゴールしたら惜しみない拍手と声援を送ってください。皆さんの声が選手の力となり、競技を盛り上げる力になると思います。(深田)



ボランティアさん募集

連の日中活動では、クッキーの製造と販売・牛乳パックを使ったはがきづくり・音楽活動・野菜販売・アルミ缶のリサイクルなどの活動を主にしています。ボランティアに興味をお持ちの方は、是非下記の担当までご連絡ください。

- 活動時間: 月～土曜日の10時～16時の間で、ご都合の良い時間帯を調整しますので、お気軽にご連絡ください。
- 問合せ先: 360-9778 担当: 永井・妹尾

連ふれあいまつり(第3回)

9月11日(土)
10:30～14:30

あそびにきてね!

- * 模擬店 (焼き鳥、焼きそば、たこ焼、カレーライス、ゲーム等)
- * アトラクション (人形劇・フラメンコ 等)



編集後記 大学の卒業式の日、私は友達と「これからも絶対会おうね!」と約束しました。しかし、社会人になってからは、忙しいことを理由に会おうとしていませんでした。別れの数だけ出会いがある。そんな言葉をよく聞きますが、私は出会いの数の方が多い気がします。友達とお別れをし、社会人の扉をあけるとこの数ヶ月だけでもたくさんの出会いがありました。今回このリアルタイムを何度も何度も読み、新たな出会いの喜びを実感しています。そんなたくさんの出会いの中でほんのちょっとだけ成長した私自身にも出会いました。暑い暑い太陽が私たちを明るく照らしてくれる8月。私は夏休みを利用して大学時代の友達と会ってみようと思います。きっと8月の太陽にも負けられないくらい輝かしく語り合えるでしょう。夏バテにお気をつけて、今後もTHEリアルタイムをよろしくお願い致します!! (能勢)